

## これまでの経緯について

### 1 これまでの取組等

- 平成12年12月 国からPCB処理施設の立地要請
- 平成13年 2月～ 北九州市PCB処理安全性検討委員会の設置（～8月9日）  
 専門家による安全性確保の方策、情報公開のあり方等についての検討
- 平成13年 2月～ 市民説明会の実施  
 延べ115団体、約4,000人の参加（平成14年1月末現在）
- 平成13年 3月～ ホームページ、市政だよりによる市民意見の募集
- 平成13年 9月 「受入れにあたっての条件」をとりまとめ  
 安全性検討委員会の提言、市民の意見、議会での議論をもとに作成
- 平成13年10月 国（環境省）に「受入れにあたっての条件」を提示  
 国が条件を了承し、PCB処理施設の立地が決定

### 2 受入れにあたっての条件(骨子)

#### 1 安全性の確保

- ・ 運搬時、処理時とも万全を期して安全性を確保すること
- ・ 事故が起こらないようにすることはもちろん、万一事故が生じた場合の対策も予め用意すること

#### 2 責任の明確化

- ・ 国は関係者の責任と役割を明確にするとともに、責任をもって環境事業団を監督すること
- ・ 環境事業団はPCBを安全かつ適正に処理すること

#### 3 情報公開

- ・ 環境事業団は、事業の計画から操業までの段階ごとに積極的な情報公開を行い、市民への説明責任を十分に果たすこと
- ・ 環境事業団は、事業にかかる情報を集約・管理し、情報公開の窓口となる「（仮称）PCB処理情報センター」を設置すること

#### 4 処理の優先順位等

- ・ まず北九州市内分のPCB廃棄物、次いで福岡県内分を先行して処理する計画とすること
- ・ 市内分の処理が終了した段階で、事業全般にわたる中間的な総括を行うこと